

東京女子医科大学医学部

女子中高生のための教育プログラム 2014

第1回 命を見守るスキルを学ぶ

(平成26年7月30日(水))

13:30~13:40	挨拶 高桑 雄一 医学部長
13:45~15:45	医療シミュレーション機器の体験・見学 (女性生涯教育支援センター1階 スキルスラボ) 「手術用ガウンの着用の仕方、縫合の仕方を体験する」 「心音、肺音を聴く、腹腔鏡下外科手技、内視鏡、超音波検査、 ロボット支援手術等のトレーニングシミュレータ」 の見学と体験
15:50~16:25	講演 「命を見守る医師の仕事」 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター所長 齋藤加代子先生

猛暑の中、今年も女子中高生の理系進路選択支援プログラム 第1回「命を守るスキルを学ぶ」が行われ、女子中高生40余名、保護者の方20余名が参加されました。今回は、手術用ガウンを着て縫合を体験するという新しいプログラムも行われ、中高生は目を輝かせて熱心にトレーニングに取り組んでいました。医学部5年生が身近な先輩として親切・熱心に指導を行いました。初めて見る医療シミュレーション機器を体験実習することで、医療に関わる進路にますます興味を持っていただけたと思います。また、後半には遺伝子医療センター所長の齋藤加代子教授の講演が行われ、通常よりずっと小さく産まれた赤ちゃんをサポートして「命を見守る」医療者の仕事についてご紹介しました。

今回、収容人員の関係で抽選にもれた方には、またの機会に是非ご参加いただければと思います。

